

大切な人との時間を大切に

251215

2学期もゴールが見えてきて、冬休みが10日もせずにやってきます。冬休みは、家族との時間が増えたり、普段会えない親戚とも会う機会があつたりすると思います。小さい頃は、よく会っていた親戚とも、大きくなるにつれて会えなくなっているのではないか。ぜひ、大切な人と一緒に語り合い、過ごす幸せを感じてほしいと願っています。

いのち

私が中学生のとき、曾祖母が亡くなった。私は曾祖母のことが大好きだったのだが、中学生になって入った部活の忙しさを理由に随分会っていなかった。亡くなる間際に入院していた曾祖母にお見舞いに行った時、曾祖母は私の知っている元気な曾祖母ではなかった。病院のベットには言葉もはっきり話せない知らない人が横たわっていた。

ふくらしていた顔や腕はほっそりとして、まるで骨のようであった。言葉は喃語（なんご）のようで聞き取れず、話しかけても目は私を捕えていなかった。私はその時初めて曾祖母の死期がせまっているのを感じた。母がいつも見舞いに行けと言うのを受け流していたが、その時の自分を悔やみ、曾祖母に申し訳ない気持ちでいっぱいだった。母から曾祖母が弱っているのを聞いていたのに、その時初めて後悔したのだ。

その後、間もなくして曾祖母が亡くなった。通夜、葬式のときは曾祖母にもう会えない悲しさでいっぱいだった。生きているときに会わずに自分のことを優先してきたのは、この私だったのに。

亡くなった人とは会いたくてももう会えなくなる。そう気付かせてくれたのは曾祖母だった。今、生きて、会える、大切な人を大切にしなければならない。明日大切な人が亡くなっても後悔しないぐらい大切にしなければいけない。

大切な人を、どんなときも、想って生きてゆきたい。

高校3年生 梅森 弓恵さん